

もりただより

vol.11

発行責任者
森田 卓司
岡山市北区建部町
大田4750-20
TEL:0867-22-9900
FAX:0867-22-9911
TEL:0867-22-2237
(FAX兼用)

発行年月日 '10.2.1

今年もよろしく お願い申し上げます。

昨年4月1日に岡山市は政令指定都市に移行し、政令市2年目となる新年を迎えました。さて、景気は持ち直しているとの一部報道もありますが、私は依然として厳しい経済・雇用情勢が続いており景気が回復傾向にあるとの認識を持っています。

そのような現状を踏まえ、昨年1月補正予算から始まった岡山市の経済対策・雇用創出事業の補正総額は、212億円余となりこの事業費が、景気・雇用の回復、又地域の活性化等の確保が図られると見え慎重審議の結果、市議会で議決されました。

一方合併地域の現状は、岡山市と建部町が合併をして3年が経過し、又、御津町は岡山市と合併をして、本年3月21日で5年が経過して合併特別区が解散します。特別区解散後のイベント等のあり方については、御津合併特別区協議会で、市当局と議論を重ねることで別表のように対応方針が決定されています。

二年後に合併をした建部町合併特別区も御津地域と同様な方向になるものと考えられます。建部地域では、福渡高校の跡地の活用が大きな課題としてありますが、私も現在この課題については真剣に取り組んでいることを改めてご報告致します。出来るだけ早い時期に、経過・現状報告を行いますと考えているところです。

個人質問項目

平成21年9月定例会市議会

・鳥獣被害防止対策について

(イノシシ被害対策)

・合併特別区終了後の事業について

平成22年11月定例会市議会

・防災対策の一元化について

・歳入について(市税)

(御津・灘崎地域の事業所税)

・豊かな自然環境に住む美しい心を持った市民の方々の気持ち大切に(御津虎倉地区産業廃棄物処理施設の設置許可について)

・水道管の更新計画について

岡山市の人口統計表

年齢別男女別住民基本台帳人口 (平成21年11月末現在)						
年齢	旧建部町		旧御津町		岡山市(合併町を含む)	
	男	女	男	女	男	女
0~10歳	202	203	399	323	3,777	35,850
11~20歳	290	276	437	399	34,607	33,256
21~30歳	298	246	544	498	41,001	41,876
31~40歳	303	248	551	584	52,912	52,882
41~50歳	321	353	674	500	41,722	43,068
51~60歳	455	436	891	715	43,677	44,966
61~70歳	490	511	1,001	759	41,658	45,890
71~80歳	452	590	1,042	567	26,718	35,573
81~90歳	208	400	608	258	10,328	19,997
91~100歳	30	96	126	34	1,114	4,326
101~110歳	1	0	1	9	10	24
総計	3,050	3,359	6,409	4,752	331,538	357,834

男女別住民基本台帳人口 (平成18年度11月末)						
	旧建部町		旧御津町		岡山市(旧御津、旧灘崎を含む)	
	男	女	男	女	男	女
総計	3,169	3,522	6,691	4,881	5,320	10,201
					318,960	343,248
						662,208

本年元日の山陽新聞によると、2005年に出生数と死亡数が逆転、2009年には、出生数が前年比2万人減・死亡数は統計資料をとり始めて以降最多であると報道されています。日本の人口減が加速されるとの報道がされていました。岡山市では、2009年1月1日から12月31日までに生まれた赤ちゃんは、6,623人、亡くなられた方は、5,693人となっています。岡山市の住民基本台帳人口は、現在のところ若干増加傾向で別表の人口統計表のとおりです。統計によると、建部・御津地域とも過去3年間で280人程度の人口減となっています。高谷市長は岡山市から日本を変えるよう頑張ると常々発言されています。人口減・高齢化社会を迎えますが、建部・御津地域が高齢化・人口減時代を元気に楽しくそして、力強く生活していく事ができる、先進的な地域となればと考えます。今年も、誠実に・着実に・元氣一杯、地域の発展のために頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

岡山市長選挙後の初めての議会となる9月定例会岡山市議会が開かれ、平成22年1月15日には平成22年1月臨時市議会が開かれました。

岡山市の2009年度の税収の見通しはどうか

Q 森田 卓司
岡山市の2009年度の税収の見通しはどうか。又、今年度の予算執行に対しての影響はあるか。

A 高谷市長
本年度の税収については、法人市民税以外ほぼ当初の予算に近い水準で推移しておりますが、昨年来の経済情勢の悪化により法人市民税が想定以上に落ち込む状況になっております。現時点では、当初予算に対して15億円から20億円程度の減収と見込んでおり、大変厳しい状況にあります。このため、歳出については執行残の留保など、より一層の効率的な執行に努めると共に、そして歳入については一層の増収に向けて努力するよう指示しているところでございます。また、景気回復が確かさないとならず、本市において最も厳しい財政運営が強いられまますが、こうした厳しい状況においても安定した市民サービスの提供できる体制が必要と考え、これまで行財政改革に積極的に取り組んでまいりました。引き続き行財政改革を断行し、財政の安定を図ることによって必要な市民サービスの確保やさらには景気や雇用のための事業も実行できるよう頑張っていきたいと考えています。

豊かな自然環境に住む「うつくしい心」を持った市民の気持ちを大切に

(御津虎倉地区産業廃棄物処理施設の設置許可について)

Q 森田 卓司
(1) 市は許可に当たって地元の方々の不安を解消するための付帯条件を付けたと聞いているが、その内容を聞きたい。

(2) 最終処分場の設置者には維持管理費用を積み立てることが義務づけられていると聞いているが、その内容を聞きたい。

(3) 宇目川流域は、岡山市域周辺でも健全な生態系が維持されている。長い歴史の中で私たちの先人たちが守り育ててきた里山景観が現在もなお残されている貴重な地域であると考えます。しかし、今のままではたとえ1つ1つの開発や事業が関係法に基づいて適切に行われたとしても、岡山市民全体の財産というべき御津地域の良好な環境が失われてしまふ。環境先進都市を目指す岡山市として地域全体の自然環境を保全していくための取り組みを進めるべきだと考えるが見解を聞きたい。県立自然公園に指定に向けての進捗状況はどうか。

A 環境局長
(1) 施設設置許可に当たり、事業者が適正な施設建設および維持管理を行い、住民の不安解消に資するため、施設建設途中主要な工程におけるの確認検査を受けること、施設稼働中の報告書の提出及び市の確認検査を受けること、維持管理記録の常設及び情報公開を行うこと、周辺地域との協議、協定の締結に努める事などである。

(2) 平成17年の法改正により、すべての最終処分場設置者について理立処分終了後の維持管理にかかる経費を理立て期間中に積み立てる維持管理積立金制度が法律で義務づけられ、独立行政法人環境再生保全機構により管理され、設置者は理立て終了後その年に必要な維持管理経費を同財団に申請することで取り崩すことができる。事業者が加入予定の保険は、不慮の事故等に対応するため、社団法人全国産業廃棄物連合会加入業者のみが利用できる賠償責任保険で限度額は中間処理施設、最終処分場ともに、各10億円である。

(3) この地域は岡山市環境保全条例に基づき共生地区であるが、現在の生態系を保全しながら持続的に発展していくためには新たな対応の検討が必要と考えている。地元からの県立自然公園編入の要望を受け、昨年度地域の自然環境等に関する調査を行った後、現在まで関係機関等の意見を踏まえながら調査結果の検証を行ってきた。今後これらの成果等に基づき県立自然公園編入を県に対して要望をする。

Q 再質問 森田 卓司
(1) 地元的不安解消のためには、操業中の水質など情報公開は重要であると考えますが、具体的に業者はどのようにするか。

(2) 県立自然公園の規制内容についてどのような事があるのか。お聞かせいただきたい。

A 環境局長
(1) 最終処分場からの浸出水、処理水並びに周辺河川水の水質、又焼却施設からの排ガス等のモニタリングの結果、又施設の維持管理記録など書面、またはホームページにより情報公開する計画である。

(2) 岡山県自然公園条例においては、土地の形状変更を行う場合、事前に届出を行うことが義務づけられており、届出に対しては国立公園に準じて風景の適正な維持を図るという観点から指導を行うことになっている。

計画的なイノシシの被害対策を望む



平成22年岡山市消防出初式

A 経済局長

① 津高・一宮・牟佐・

① 8月3日のイノシシ対策の講演会には、何名程度の受講者としてその方々の感想はどうであったか。
② 講習会を是非とも実態の合った地域(建部・御津等)で行うべきではないか。
③ 猟友会の方々の高齢化が進んでいると聞いているが全市的な平均年齢、建部・御津・足守地域の地域別の平均年齢はどのような状況か。
④ 全市的な駆除班の数と、ここ数年の駆除班の増減はどのような状況か。
⑤ イノシシの1頭あたりの捕獲補助金制度の見直しを考へるべきではないか。
又、岡山市鳥獣被害防止計画で示されている軽減目標10%は達成できるのか。
⑥ 電気さくとかトタンさくは、要望があれば緊急に設置できるようにするべきではないか。又、平成21年度からの整備計画の根拠をお聞かせください。

Q 森田 卓司

御津・建部等から約70名の方が受講され、イノシシの生態や習性など、今まで知らなかった知識が得られ大変参考になった等の感想があった。
② 岡山市としては初めての開催であったが、今後でもできるだけ多くの会場で講演会が開催できるよう計画をする。
③ 猟友会の平均年齢は、平成20年11月現在で、全市で63歳・建部で65歳・御津で62歳・足守で66歳である。
④ 全市で14班、建部で2班、御津で4班、足守・高松・吉備で1班となっており、駆除班の数は変わっていない。
⑤ 補助制度については、1頭当たりの補助単価が切り下がり、捕獲計画に基づき事業実施と必要な予算の確保について検討をする。
又、イノシシの餌となる収穫物を圃場に放置しない等の意識啓発に努める等、関係者との連携を図りながら被害の軽減目標の達成に努力する。
⑥ これまで、県の事業を活用する事で、予算措置や予算の執行には制限があった。今年度より新たに岡山市地域鳥獣被害防止対策協議会で、国の事業を活用して電気さく等の施設整備ができる事になり、要望が協議会へ出されれば、協議会で対応を検討することもでき、地域の要望に応じて柔軟な対応ができるよう計画をしている。又、平成21年度からの電気さく等の整備計画は、対策協議会で国の事業計画であり、これまでの事業予算を上回る要望にも対応できる。

林政課が御津支所に設置された経緯と、21年度の機構改革で本庁の農林水産課水産林政係とした根拠は何か。又、御津・建部・足守等農山村地域、中山間地域を所管する北區には、中山間地域対策室のようは、農林水産を含む地域振興まで含んだ特別プロジェクト部門が必要ではないか。

機構改革の目的は何か

A 行政改革担当局長

岡山市と合併後機構改革で林務行政の体制を強化すると同時に、地域ニーズにも効率的に対応するため御津支所に新設された組織である。
林政課の地域ニーズ等対応機能を北區役所農林水産振興課に移行し、本課機能を本庁の農林水産課水産林政係と組織することで、関係団体との関連も含めて、水産と林務のより一体的な施策の実施を図るためである。
なお、北區の広大な所管区域に対応するため、北區役所農林水産振興課施設土木分室で、今までの市民サービス水準を維持しながら迅速な対応をしている。

Q 森田 卓司



平成21年11月定例市議会での個人質問

林政課が御津支所に設置された経緯と、21年度の機構改革で本庁の農林水産課水産林政係とした根拠は何か。又、御津・建部・足守等農山村地域、中山間地域を所管する北區には、中山間地域対策室のようは、農林水産を含む地域振興まで含んだ特別プロジェクト部門が必要ではないか。

合併特例区終了後の具体的な地域づくりはようになるか

Q 森田 卓司

① 施設等の管理運営は今回の9月定例市議会にも上程されているが、市が管理運営を行うことで、御津地域の方々も今まで同様利用できるということと安心されていると思うが、河原邸・御津農村環境改善センターの方針はどうか。
全国獅子舞フェスタ等、現在特例区事業として運営をしている事業の特例区解散後の方針を問う。
② 合併地域はすべて、区長制度で地区ごとの課題や要望を行って、特例区解散後の区長制度に対する、議論の状況と方針を問う。
③ 確認を含めて質問をするが、新市建設・新市基本計画の期間中10年間は、御津・灘崎を合わせた合併4地域は支所に産業建設課を残すとの約束であったが、現在も状況に変化がないことを確認する。
④ コミュニティバス・スクールバスの運行についての方針はどうか。

A 新市建設計画推進担当局長

① 河原邸は岡山県の所有財産である。岡山県と協議を進める中で、特例区協議会、地元地域活性化協議会と協議を行い適切な形で対応ができるよう調整している。
御津農村環境改善センターは、図書館並びに公民館を併設した生涯学習施設として位置づけるための手続きを進めている。又、ソフト事業については現在の状況は、関係局室と検討しており、特例区協議会とも協議する中で調整をしている。
② コミュニティバスは街路交通課、スクールバスは就学課を担当課として事業継続をする。
③ 平成19年11月議会での答弁のとおり、考え方には変化はない。

番号	特例区事業名(現在)	施設名称(H22.3.22→)	運営形態	使用料等	その他
1	御津スポーツパーク	御津スポーツパーク	指定管理	(新設)会議室 冷暖房使用料 200円/1h	4月1日から指定管理となる(スポーツ振興課)
2	かながわSAKAGURA	かながわSAKAGURA	指定管理	現行どおり	駐車場については、地権者と賃貸借契約を締結(観光課)
3	承芳ふれあい広場	承芳ふれあい広場 岡山市御津町郷土歴史資料館	委託 直営	夜間照明料 200円/1回→400円/1h 資料館入館料 100円→無料	[スポーツ振興課] [文化財課]
4	御津町郷土歴史資料館・交流プラザ	御津ふれあいプラザ	直営	交流プラザ使用料 時間帯料金→1時間ごとの料金 【ホール】600円/1h 【研修室】300円/1h 【租 室】200~300円/1h	[市民企画総務課]
5	御津町農村環境改善センター	御津図書館 御津公民館	直営 直営	現行どおり 料金体系(公民館分)を見直し	・建物は公民館・図書館に区分し、土地は、公民館部分・図書館部分・御津支所管理部分に区分する。
6	河原邸(県有財産)	河原邸(県有財産)	委託	入館料は無料とし、岡山県と地元活性化協議会で契約を締結する	

番号	特例区事業名(現在)	イベント名(H22.3.22→)	運営形態	備 考
1	ふるさとフェスティバル	ふるさとフェスティバル	実行委員会	実行委員会と協議検討したが、実施不能状況である
2	全国獅子舞フェスタ	全国獅子舞フェスタ	〃	実行委員会と協議検討したが、実施不能状況である
3	健康マラソン大会	健康マラソン大会	〃	スポーツ振興課で予算組立、実施予定
4	区民館まつり	公民館まつり	岡山市立公民館	岡山市連合町内会に加入する(3小学校区)予定(2月の御津地区区長会総会で決定)
5	夏祭りinみつ	夏祭りinみつ	実行委員会	夏祭りinみつ実行委員会を設立し区づくり推進事業(広域交流部門)にエントリー予定
6	大青空市	大青空市	〃	地元生産者団体が継続実施予定

その他

番号	特例区事業名(現在)	事業名(H22.3.22→)	実施形態	備 考
1	コミュニティバス	コミュニティバス	街路交通課	コミュニティバス便とスクールバス便とに分離し、現行どおり引き継ぐ
2	区民会の運営	岡山市連合町内会	教育委員会	岡山市連合町内会に加入する(3小学校区)予定(2月の御津地区区長会総会で決定)
3	町有林の維持管理	市有林の維持管理	農林水産課	農林水産課直営事業として継続実施

(参考)合併協定事項 協定項目18 使用料、手数料等の取扱いについて(抜粋)
1 使用料については、原則として現行のとおりとする。ただし、同一又は類似する施設の使用料については、施設の規模、実態等を考慮し調整を図るものとする。
(注)イベント関係については変更の可能性あり



Morita Takushi

編集後記
昨年は、国政では政権交代があり民主党政権を中心とした連立政権が発足しました。岡山市では市長選挙が行われ、現職の高谷市長が再選を果たし政令市岡山の舵取りを託すことになりました。この結果を真摯に受け止めて、皆様方との対話を基本に市議会議員としての活動をしてまいりました。
建部地域では、今年も元日のソフトボール大会、6日には新春ケランドゴルフ大会が盛大に開催され元氣な建部の平成22年がスタートしました。

活力のある地域づくりを目指して!!

森田へのご意見・ご要望がありましたら…

TEL : 22-2237・22-9900 FAX : 22-9911
携帯電話 : 090-1337-2249
E-mail: t-morita@po12.oninet.ne.jp